

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスわたぼうし					公表日 2025年12月24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	定員に対して、活動のスペースは充分取れています。用途に合わせて部屋を使い分けを行い、日々の支援を実施しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0	適切な配置となっています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	5	設備上難しいところに関しては職員がついてフォローできる体制にしています。	建物内にやや死角が多くなっています。また、 1つの部屋を様々な用途で使用する場合があるため、子どもたちに分かりやすい構造にしていける必要があります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日清掃を行っており、活動に合わせて部屋を使い分けています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	状況に合わせて部屋の使い方ができるようになっています。	クールダウンするための部屋がないため、そのための区間を設けるかどうか、設備等も含め検討していきたいと考えています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	日々、打ち合わせと振り返りを行っており、その日の支援内容を共有しています。	経験が浅い職員が多く、支援力が向上するまでに時間を要することがありますが、経験と共に質の向上を目指します。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価表を共有し、事業所の強み弱みについて把握し、活動や取組内容に取り入れるようにしています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	振り返りの場で職員の意見を聴取しています。必要があれば別途会議も開催し、改善に努めています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		現在、第三者による外部評価は未実施です。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	法人内に研修委員会も設置されており、内部・外部共に研修制度は充実しています。			
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	5領域を組み込んだ支援プログラムを実施しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者の方との面談や、日々のモニタリングを通じて、本人のニーズならびに保護者の方のニーズを取り入れた計画を作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援計画会議を開催し、全職員からの意見も取り入れて実施しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	毎日の支援目標を、支援計画をもとに立て、打ち合わせ時の職員に共有しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	基本アセスメントシートや、社会能力検査を用いてアセスメントを取るようになっています。	フォーマルなアセスメントを取る頻度がまだ少ないと感じるため、機会を増やしていきます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインを理解し、ねらいを踏まえて日々の支援プログラムを設定しています。			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	それぞれの担当が考えたのち、月1回会議を開催して適当であるかの検討を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	5領域を出来る限り満遍なく実施できるようにしています。	一部のプログラム内容がマンネリ化しやすいため、新しい設定も少しずつ実施していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動、個別活動ともに適宜組み合わせをし、集団活動において難しい場合には個別に対応するようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎日打ち合わせを行い、支援内容を可視化するようにしています。	細かな動きや、イレギュラー時にも順応に対応できるよう、役割にこだわり過ぎないようにしていく必要があります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	毎日振り返りを行い、気付いた点を全員で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	出来る限り当日に記録を残すことを実施し、気になる点があれば聴取する時間を設けています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に一度計画の見直しを行っており、職員全員からの意見を聴取しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	自立課題等も取り入れ、基本活動に応じた活動を行っています。	地域交流の機会が少ないため、機会を増やしていきたいと考えています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	子どもたちからの発信を取り入れられる取組や環境設定をおこなっており、定期的に子ども達が計画・実行する機会も設けています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	支援に携わっている職員が参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	学校や園と必要に応じて、情報のやり取りを行うようにしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	利用がスムーズになるように、学校と連絡調整を行っています。年間行事や月間予定表などを確認しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	利用前に園等に伺い支援情報の共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	移行先の事業所との情報交換を行うように努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	必要に応じて地域の児童発達支援センター主催の研修等を受けるようにしています。また、法人内の専門職からスーパーバイズを受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	イベントを通じて交流するようにしています。	イベント時のみの交流となっており、全体的に機会が少ない為、増やして行きたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	協議会主催の研修等に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	お迎え時に、保護者に本日の様子をお伝えしつつ、連絡帳にも記載しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		家族支援プログラムは実施できておりません。研修案内については入口に掲示をしています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	入所契約時に読み上げと、不明点や疑問点等がないかを確認させていただいています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	お迎えの際や、面談時に普段の様子を伺いながら、それに伴う意向を伺うようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	保護者の方に確認して頂きながら、一つづつ説明させていただいています。変更や希望がある際には随時更新しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	悩みや相談を受けた際、可能な限りお答えし、専門的な知識を要する場合には後日お答えできるようにしています。	様々な悩みや相談に対し、適切にお答えができるように経験や知識を深めるように努めています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	5		現在、父母の会等開催できておりません。今後、開催できるようにしていきたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情はあった際には迅速に対応し、適宜関係者への情報共有を行い、改善に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月、通信発行をさせていただいており、入口に掲示とメールにて配信を行っております	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約時に個人情報の取り扱いについて同意をいただいたうえ、最新の注意を払って取り扱いをしております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	アセスメントをもとに、必要に応じたツールの作成と使用をしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		地域住民の方をご招待してのイベントは実施できておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを作成し、計画に沿って訓練を実施しております。	訓練実施に関しては通信やお迎え時の様子でお伝えしております。マニュアルは入口に配置しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPに策定は完了しており、定期的に訓練等も実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	入所いただくにあたって、事前にお伺いさせて頂いています。その他変化がないかどうか日々確認させていただいています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	現在、食物アレルギーを持つ児童がおりませんが、いる場合には必ず指示書をいただき、該当する食品の提供はしないようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画の作成をしています。どなたでもご覧いただけるよう、入口に掲示しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	避難訓練、防犯対策訓練において、通信にて発信や、お迎えの際に取組内容についてをお伝えしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	振り返りでヒヤリハットを共有し、再発防止に向けての対策を話し合う機会を設けています。過去にあったヒヤリハットをみかえせるようファイリングも行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	全職員が虐待防止についての研修を行い、研修報告を行っています。また、法人単位で月1回虐待防止委員会を開催し、日々の業務改善に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	決定したうえで、計画に記載し、ご家族さまにご説明をさせていただいております。不要な身体拘束がないか、振り返りや委員会を通じて確認しています。	